



令和7年度 新奥会行政視察報告

令和7年10月15日・UR都市機構東日本都市再生本部 ◎最近の地方都市における再開発の傾向について

奥州市は人口減少の中、都市の内部においてスポンジ化が進んでいます。URの活動内容は、都市再生事業等を行っており、地方公共団体などと連携しての都市開発の推進、民間事業者との協力による密集市街地の整備等を行っています。

市では現在、老朽化した建物や密集した市街地を、土地の高度利用や公共施設の整備によって更新し、都市機能や居住環境を向上させる事業を進めています。今回の視察で最も参考になったのは行政であってもコストバランスを考えて持続可能な地域発展を進める事が必要で、昨今の材料費高騰がコスト高を招く中、民間の投資意欲が出てくる際に併せて行政も支援していく方策の方が、より効果的に事業が進むように感じました。それに合わせ、行政としては下地作りや制度を整えたり、滞っている道路整備や上下水道整備を進める必要性も感じるものでした。



UR都市機構東日本都市再生本部が入っている建物

10月16日・JRA日本中央競馬会 ◎地方競馬の関係性や将来ビジョンについて

岩手競馬は昨年60周年を迎えました。ここ数年は自治体からの借入に対する返済が可能な黒字が続いていますが、決して長期的な安定が見えているわけではなく、岩手競馬の今後の展望を描く上でもJRAとの関係性は重要であると考え視察しました。

JRAは2004年の競馬法改正以降、地方競馬全国協会を通じて特別振興資金を拠出しており、岩手競馬においては走路照明整備や大型映像装置の更新などに活用しています。JRAにとって地方競馬は共存共栄のパートナーであり、そのために発売網の連携や交流競走（重賞含む）の拡大や、レース体系の整備にあたりつつあることでした。岩手競馬もそうですが、年々ネット販売の比率がJRAでも高まっており、3年連続1兆円超え4年連続最高額を更新、一方で伸び率は地方競馬の方が高い傾向にあるということでした。



10月16日・総務省自治財政局 ◎公立病院と地域医療の現状と将来性について

公立病院の位置づけや再編の方向性、医師確保策、財政支援制度などについて詳しい説明を受けました。

公立病院は県立病院との役割分担を明確にし、連携を強化することが重要であり、再編や統合の方向性は地域が主体的に決めるべきとの見解が示されました。医師確保については特別交付税による支援措置が説明され、財政面では病床数等に応じた普通・特別交付税の仕組みが紹介されました。

また、病院建設に関する国の支援は「地域医療構想」に沿うことが前提であり、現計画が該当しない場合は特別な財政措置の対象外となることも確認されました。地域医療の将来を考えるうえで、地域全体で病院の役割を協議し、国・県と連携した計画づくりの必要性を強く感じました。奥州市が進めようとしている「新医療センター」に関しては、引き続き会派として病院の必要性も含めて、市民や医師会と共に考えてまいります。



新奥会議員活動報告

会長
小野 優

(47歳)

水沢秋葉町
建設環境常任委員
議会運営委員会委員長
議会広報公聴委員会
岩手県競馬組合議会議員



議会運営委員会委員長として議会基本条例の検証作業、そして奥州市議会議員政治倫理条例の制定に注力しました。基本条例の検証に際しては突き詰めていくと奥州市議会のあるべき姿、それも市民からどういう議会像を求められているかという観点が必要で、コンプライアンスの強化が求められる時代にあつて、基本条例の中の項目だけでは不十分であるということから制定するものですが、作っておしまいでなく、実現性を持たせるための研修制度の確立などが、今後必要になっていくと考えます。

建設環境常任委員会では、ごみ減量施策に関する政策提言に取り組みました。現在の最終処分場は、市民の皆様のご理解とご協力があつて、当初の想定より使用可能期間は延伸していますが、それでもいつかは次の埋め立て地を決めていくことにな

ります。その決定を少しでも先に延ばすためにも、ごみの減量化に更に取り組む必要があります。今回の提言では単にごみを減らすだけでなくごみを資源として捉え、有効活用につなげていく方策の検討というところまでは進められましたが、その実現にはある程度の費用も発生することから、その部分は今後更に議論していくことになると思います。

今年度の一般質問はここまで、「次期総合計画の策定について」「DX全体方針について」「生活保護について」「新型コロナウイルス対策について」「空き家対策と固定資産税の在り方について」を取り上げてきました。特に新型コロナウイルス対策については、この間の経験をしっかりと蓄積し、新たな感染症発生に対する準備を怠らないことを指摘し、当局とその認識は共有できたのではないかと感じています。

副会長
高橋 晋

(63歳)

江刺豊田町二丁目
産業経済常任委員会
副委員長
議会改革検討委員会委員長
国際リニアコライダー誘致
推進議員連盟幹事



6月議会一般質問では、「江刺市街地エリア開発整備構想、旧商業施設跡地（旧イオン江刺店）活用の進捗状況及び今後の方針について」を質しました。さらホール無き後の江刺地域の文化活動が衰退しないよう引き続き質問してまいります。

また、「奥州市のシティプロモーションの取組について」職員が育んだ「おうしゅうたろう」を中心とした取組が、新医療センターのプロモーションなど公平性を欠く使われ方をしないよう質しました。

9月議会一般質問では、「奥州市文化財保存活用地域計画について」本計画は令和18年に予定される、旧自治体の博物館や記念館を統合する「新博物館」の建設を指すのかを教育長に質しました。

また、「投票済証明書」に「おうしゅうたろう」のイラスト

の活用が、投票率向上や市民の関心喚起に資する可能性を選挙管理委員長に質しました。

今後の選挙においても、証明書のデザインとして「おうしゅうたろう」を活用し、証明書交付を継続し投票率向上に努める旨の答弁をいただきました。

12月議会では、「県立岩谷堂高校の2系列廃止問題について」「公共交通の将来像について」市長に質しました。

議会改革検討委員長として、議会そのものの改革も進めています。会議の効率化や情報公開の充実、ICTの活用など、市民が分かりやすく議会を理解できるよう、全員協議会や請願審査のインターネット中継や資料公開も拡大しています。

産業経済常任副委員長として、「体験型商店街に関する政策提言書」を9月議会において市長に提言しました。

幹事長
及川 春樹

(55歳)

水沢羽田町字明正
建設環境常任委員会
副委員長
議会運営委員
市政調査会副会長
奥州金ヶ崎行政事務組合議会議員
国際リニアコライダー誘致
推進議員連盟幹事長



我々、市議会議員の活動も3年半が経過し、残すところ数ヶ月となりました。今任期ほど市民合意、合意形成について改めて考えた事は無いかと思います。

6月定例会にて出された請願「新医療センター整備について抜本的な見直しを求める」の紹介議員として請願審査にも出席しましたが、地域の医師の方々の理解を得ていない今の進め方では、市民の不安は払拭できるのではないかと思います。奥州市は今後、胆江広域水道用水供給事業（第3期整備計画）の大型案件も後に控えており、東北財務局からの奥州市財務状況の分析結果では令和18年度では積立低水準（留意すべき状況）の指摘があり、2つの大型案件が加わる今後の財政計画の見通しに懸念が残るものと思います。

一般質問は以下のように致しました。

6月定例会
「医師養成少額資金の義務履行先の要件緩和について」

①医師確保が難しいなか要件緩和により市立・県立病院間の医師派遣を進め、地域に根差した医師の確保、育成を進めることについて

②その人材交流を柱に市立・県立病院の連携を深め地域医療の充実を図ることについて

「ものづくり分野の起業のための場所の確保策について」

①ものづくり特化型インキュベーション施設の整備

②低コストな起業拠点の提供

③機械・設備のシェア制度の構築

●建設環境常任副委員長として「奥州市のごみ減量施策に関する政策提言書」の12月定例会での提言に向けて進めています。

●市政調査会副会長として、令和7年度奥州市議会市民フォーラム「なるぞ！なれるぞ！市議会議員」を開催しました。

特集・市議会議員のなり手不足について



令和6年度奥州市議会主催市民フォーラム

前回の市議会議員選挙が無投票に終わったことから、今任期は議員のなり手不足について調査・研究を重ね、奥州市議会としては議員定数・報酬ともに現状維持、という結論に至りました。このテーマについて、新奥会としての考えを整理してお伝えし、今後の皆様のご判断の参考にしていただければと思います。無投票は絶対に避けなければなりませんし今後も人口減が続くことを考慮すると、新奥会としては様々な要因を検討しながらも、定数削減・報酬増という方向で進むべきと考えております。

議員のなり手不足といえますと、単純に考えれば新しい候補者がいない、ということを示すのですが、奥州市議会の場合、前回の選挙では8人、前々回では9人の新人が立候補及び当選しております。

これだけの新人がいて、何故無投票になってしまうのか。その要因の一つに、それまで候補者を出していた地域から新しい候補者を出せなくなっている、という現状があります。昨今、町内会や自治会の役員となり手不足の話をよく耳にするようになりましたが、議員も同様の状態であると捉えております。

無投票＝定数削減が一般的な通り道かもしれませんが、定数の話を取り上げると、一定数の方から現状維持、もしくはむしろ増員を求める声必ず上がります。定数を下げると地盤を持たない若い人材の立候補のハードルを上げる（当選得票数が上昇する）、という指摘の他に、それぞれの地域からまんべんなく議員を出すべきだ、という意見もあるからです。立候補のハードルが上がることにしてもその通りであります、どの地域からも代表を出すべきだというご意見について、現実にはそれができる状況にない、ということをおまづご理解いただければと思います。

少しでも立候補者を増やそうとすれば、議員報酬の増額も視野に入れざるを得ません。報酬増の話については、物価高騰にあえぐ苦しい市民生活が続く中で「議員たちだけがいい思いをするのは許せない」という厳しい声もいただきますし、それは私たちも同様の思いです。では何故定数削減と同時に報酬増を掲げるのか。それは「民主主義のコスト」という視点からこの問題を捉えているからです。

近年の歳出に占める議会費は【表1】の通りです。奥州市の財政状況は危機的状況を脱したとはいうものの余裕がある状況では決してなく、議会費、特に議員報酬に関わる部分は基本的に令和5年度や令和6年度決算における割合を維持していくべきだと考えますので、議員報酬だけを上げるという判断にはなりません。そこで改めて議員定数と報酬の関係性を整理するために、奥州市の人口推計と類似一般市の現在の状況を照らし合わせてみました。

【表2】

2020年における奥州市の人口推計は112,286人でしたので、類似一般市の分類105,000～115,000人に当てはまります。該当する市は全部で23市ありますが（奥州市含む）、その議員定数の平均値は22.8人です（奥州市は28人）。同様に議員報酬を見ていきますと、平均値は455,939円です（奥州市は360,000円）。2030年や2040年の奥州市の人口推計を類似一般市の状況に照

らし合わせると、やはりそれぞれの値に乖離があります。この値をベースに歳出に占める議会費の割合を掛け合わせて、奥州市議会としての適正な議員報酬・定数を導き出していくべきだと考えます。極端な話をすれば計算式を前もって定め、その後は機械的に数字を決めていく、という方法もありえます。

加えて、議員報酬については単に計算式に当てはめるだけでなく、議員・議会の働きぶりを評価していただいた上で、といった観点も必要になるでしょう。次期任期ではなり手不足について改めて議論を整理した上で、市民の皆様にご納得していただける結論を導き出していきたいと思っております。

【表1】歳出に占める議会費の割合

	歳出総額	議会費	議会費 / 歳出総額
R 5	62,775,147,164	281,667,081	0.45%
R 6	64,310,215,256	281,275,879	0.44%

【表2】奥州市の人口推計と類似市の議員定数・報酬との比較^{※1}

		2020	2030	2040
奥州市の人口推計 ^{※2}		112,286人	99,012人	86,231人
定数	奥州市	28	28	28
	105,001～115,000人 ^{※3}	22.8人 (23市)		
	95,001～105,000人		23.1人 (28市)	
	85,001～95,000人			22.1人 (30市)
報酬	奥州市	360,000円 ^{※4}	360,000円	360,000円
	105,001～115,000人 ^{※3}	455,939円 (23市)		
	95,001～105,000人		420,571円 (28市)	
	85,001～95,000人			427,050円 (30市)

※1 2020年1月1日時点の全国市議会議員会長の市議会議員定数・報酬に関する調査結果を参考に平均値を算出
 ※2 2016年の奥州市人口ビジョンによる推計値
 ※3 奥州市の人口はこの時点では117,360人だが人口の範囲には推計値を用いた
 ※4 議員報酬は議長、副議長を除いた額

編集を終えて

2期目最後の会報をお届けするにあたり、市民の皆さまからの日頃のご支援と温かい励ましに、あらためて心より感謝申し上げます。私たち新奥会は、この4年間、地域の声に耳を傾け、一つひとつの課題に真摯に向き合いながら活動してまいりました。

今後も、市民目線を第一に、より良い奥州市の未来づくりに力を尽くしてまいります。どうか引き続きのご指導とご協力をお願い申し上げます。



会報Vol.1
◎私たちの地域医療の今日と明日



会報Vol.2
◎奥州市の財政の今後



会報Vol.3
◎雪害被害報告



会報Vol.4
◎4年間を振り返って



会報Vol.5
◎新たな議員を迎えて



会報Vol.6
◎行政視察報告



会報Vol.7
◎奥州市の医療はどうあるべきか